

ノエルベルデ



《ブランド理念》

「佳きものをはこぶ」

『作り手』『買い手』『売り手』『社会』『自然』『生物』『未来』が
優しさでつながる7方よしを目指しています。

■背景

SGDsやレイズトレードの考え方に則り、農業の世界に寄り添いながら、自然と共に継続可能な経済活動をしたい。その想いを実現するには、いわゆる我々が見えている事やものだけでは出来ないとの思いに辿り着きました。

地球規模での農業生産を意識した時、我々人間だけで生きているのではなく、木々や土壌、海などの「自然」、微生物や動物たちの「生物」など、有機物・無機物含めた動的・静的なもののすべて、さらには時間軸としての「未来」を視野に入れ、これからの子孫たちに繋げて行くことも考え、農産物を生産する。

これら全体性としてのバランスと、その関係性を再構築する。

これこそがノエルベルデが目指すカカオ製品の製造の道であり、弊社が全体的な動きに参画出来ることだと辿り着きました。故にノエルベルデのチョコレートはアーストゥーバーと名付けています。

《ブランド説明》

カカオの起源と言われる南米エクアドルのフレーバーカカオの素晴らしさを、もっと多くの方に手に取って頂きたい。そしてそこに繋がるモノ、人、環境がより豊かになって行くような持続可能な未来を願い、Noel Verde(ノエルベルデ)を2018年に立ち上げました。

Noel Verdeはスペイン語でグリーンサンタクロースを意味し、そのロゴキャラクターは恰幅の良い農家とサンタクロースを融合した姿を表現しており、「自然を守り、その豊かな恵みである佳きものをはこぶこと」を担っております。

目指すのは、SDGsの文法に則った、レイズプロダクトとしての

「人生を変えるチョコレート」をあまねく人にお届けすること。



代表

高橋力榮（たかはし りきえい）プロフィール

エクスプローラー、有機農業技術者、
チョコレートファウンダー



1976年1月26日栃木県生まれ。大学卒業後、
1999年より2年間に渡りイスラエル、スペイン、イギリス等の海外を遊学。
その出会いの中で有機農業の世界に入ることを決意。帰国後に就農。酪農業を経営する傍ら、
有機農業を実践。

2008年、大規模農場の経営を学ぶ為、南米エクアドルに家族と移住。自然循環型農法で
バナナ生産をする田辺農園に、害虫防除及び肥培管理責任者として就任。有機農業を化学的
に分析、マニュアル化やデータ化に従事し、増産に寄与。

2016年、田辺農園退社。エクアドル固有種のカカオに惚れ込み、カカオ農場や輸出業者
先での研修を始める。

2017年にTAKAHASHI trading and investigationsを設立。カカオ加工品を日本に輸出す
る事業を開始。各地の生産者を回り現状を見るうち、「農家が豊かになるためにはダイレク
トトレードをし、その最終商品となるチョコレートまで製造しなければならない」ことに
思い当たる。

2018年にチョコレートブランド、ノエルベルデを立ち上げる。

2019年、Salon Du Chocolat Tokyoにてカカオの講師として講壇に立つ。

2020年、Salon Du Chocolat Tokyoのエクアドルブースにて、ノエルベルデブランド
製品のデビューを遂げる。

2021年、アーストゥーバータブレット9種類をSalon Du Chocolat Tokyo、阪急うめだ、
松屋銀座、東武池袋店にて販売。

農家との繋がりを大切にしながら環境に優しい持続可能な生産物を届けることを
掲げ、未来型のビジネスモデルとして、その可能性を追求し続ける。

<https://www.noelverde.com/>

